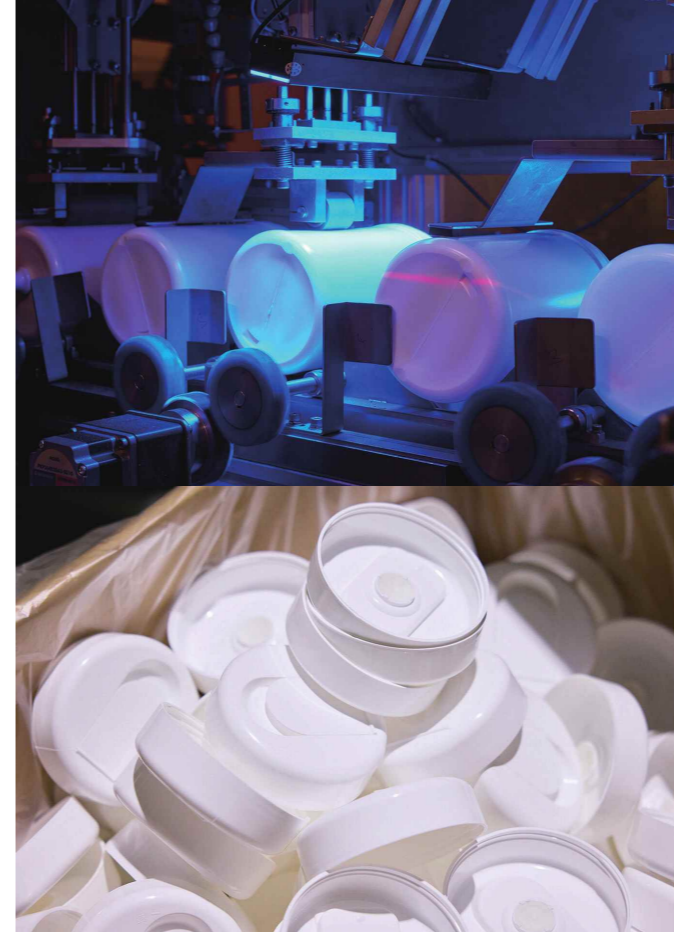




代表取締役社長の川崎功雄さん(写真上)
遊び心満載の「カワカゴ」第一弾アイテム「うどんヘルメット」(写真下)



「気温などによって日々変化する樹脂の状態を見極め、最適なものづくりができたときは達成感があります」とやりがいを語るブロー成形部門工場長の平川喬司さん



プラスチック成形のプロが挑む “持続可能”なものづくり

**知識と経験を生かし
環境にやさしい製品を開発**

持続可能な社会の実現のため脱プラスチックの気運が高まる中、「長年プラスチック製品を作り続けて、プラスチックをよく知る当社だからこそ、この問題に他の誰よりも積極的に取り組みたい」と川崎さん。今年から新たに自社ブランド「カワカゴ」を立ち上げ、植物などの再生可能な有機資源を原料とするバイオマスプラスチックに特化した商品開発・販売を推進しています。

創業以来、観音寺市で一貫してプラスチック成形に取り組む川崎化工。長年にわたって研究開発・改良を重ねた独自の加工技術を持ち、ボトル型ウエットティッシュ容器の生産では国内トップシェアを誇ります。

プラスチックの成形方法は、溶かした筒状の樹脂を金型で挟み、内部に空気を吹き込み内側から膨らませて型に張り付ける「ブロー成形」と、凸凹でセットになった金型の隙間に溶かした樹脂を流し込む「射出成形」の主に二つ。ブロー成形は中空の容器をつくるのに適し、射出成形は複雑な形状にも対応できるという特徴があります。「どちらか一方に注力する会社が多いのですが、

挑戦する かがわの ものづくり企業

プラスチックを扱うからこそ地球環境に正面から向き合い、技術とアイデアで持続可能なものづくりに挑戦する、香川の企業を紹介します。

川崎化工株式会社
住所 観音寺市豊浜町和田乙1248番地3
創業 1967年
設立 1986年
従業員数 44人
☎0875-52-2929
<https://kawasakikako.co.jp/>



バイオマスプラスチック

バイオマスプラスチックは、ごみの発生や化石資源使用量を減らしCO₂排出量を抑制するエコな素材である一方で、成形の難しさが課題とされていますが、同社は独自の加工技術でこの問題を解消。ブランド商品第一弾として、ひっくり返すとどんぶりになるヘルメット型の容器「うどんヘルメット」を開発しました。今年2月に東京で開催された展示会に出展したところ、大手雑貨店や全国各地の道の駅などから引き合いがあり、驚くほど盛況だったそう。「きっかけづくりとしてインパ

クトのあるものを作りたかったんです。万人に支持されるより、この商品を面白いと思ってくれる層にとことん訴求していくことで、当社を知ってもらえれば」と川崎さん。「カワカゴ」では、プラスチックの代替品にとどまらない、バイオマスプラスチックならではの魅力的なアイテムを作り出して、バイオマスプラスチックの可能性を広げていきたい」と展望を語りました。

問い合わせ先
(公財)かがわ産業支援財団 取引支援課
☎087(868)9904

INFO

BCP(事業継続計画)の策定、事業承継を支援します!

- ①香川県中小企業BCP策定等支援補助金
- ②香川県事業承継支援事業費補助金

香川県では、中小企業が専門家や支援機関を活用して実施する、①BCPの策定または改善に必要な経費、②事業承継計画の策定やM&Aに着手する際に必要な経費の一部を補助しています。

募集期間 12月20日(金)まで随時募集
※予算額に達した時点で募集終了

対象者 ①県内に本社を有する中小企業
②県内に本社を有する中小企業・個人事業主

対象経費 ①専門家の指導・助言を受けて中小企業自らが行うBCPの策定または改善に必要な経費
(例) 専門家コンサルティング料
社員スキルアップのための研修費
②事業承継およびM&Aに関する専門的な知識および実績を有する専門事業者への委託料
(例) 事業承継計画の策定委託料
M&Aの仲介委託料(譲り渡し側)
デューデリジェンス費用(譲り受け側)

補助率等 ①補助対象経費の1/2以内(上限50万円)
※ただし、SDGs登録事業者は2/3以内
②補助対象経費の1/2以内(上限30万円)
※ただし、M&Aの場合は1/3以内

※詳しくは、県ホームページに掲載している交付要綱などでご確認ください。

問い合わせ先 経営支援課 ☎087-832-3345

県HPページID ①BCP 23439 ②事業承継 3156